



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第103号(2012年8月31日)



## 【DP Worldが好決算】

港湾運営で世界でも最大手の一つである、ドバイのDP World社はグローバル経済の停滞にも拘らず、好調な業績となっています。中東、欧州、アフリカにおける売上が好調で、同社の上半期の税引き前利益は前年同期比12%増えて3億1千万ドルに達しました。

いわゆるアラブの春からは大きな悪影響はなかったようです。一つには、騒乱が大きかった国では同社の活動はあまり行われていなかったことが挙げられますが、デモが飛び火したアルジェリアでも同社の業績は好調だったようです。

一方で同社CEOのSharaf氏は、上半期に見られたグローバル経済の不透明さが下半期も続いていると警告を述べています。グローバルのコンテナ船輸送最大手のA.P. Moller-Maersk A/S社もグローバルの貿易の停滞について警鐘を鳴らしています。Maersk社は、従来2012年の海上輸送の需要を前年比4%から6%増加すると予測していましたが、8月上旬の業績発表時にはこれを前年比4%と下方修正しています。

DP Worldは近年投資を活発にしており、アジア、ラテンアメリカにおける投資のほか、ロンドン・ゲートウェイ港および付随する倉庫などにも約16億ドルにも及ぶ投資を行っています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【Masdar社が世界エネルギーフォーラムを主導】

アブダビの再生エネルギー会社Masdarが2012年10月にドバイで開催される世界エネルギーフォーラムの主要なスポンサーの一つを務めることが発表されました。世界エネルギーフォーラムはエネルギーについての多角的な対話や、エネルギー問題解決のためのロードマップの策定などが目的となっています。

また、Masdar社は来年1月に開かれるアブダビ・持続性・ウィークとでも呼ばれるべきイベントも主催します。このイベントの週は、世界・将来エネルギーサミットやZayed将来エネルギー賞の授賞式、国際水サミット、国際再生エネルギー機関の総会、国際再生エネルギー会議などが開かれます。これらの取り組みを通じて、エネルギー、特に再生エネルギーの分野でアラブ首長国連邦のプレゼンスを高めることが狙いとされています。

## 【カタールがイギリスの空港運営会社に出資】

カタール・ホールディングスは、イギリスのヒースロー空港やスコットランドのグラスゴー空港、アバディーン空港などを運営するBAA社の持ち株会社の株式を約20%取得することになりました。取得代金は約14億ドルとされています。

持ち株会社はスペインのFerrovial社などによって保有されていますが、今回Ferrovial社が10.62%を、他のパートナー企業がそれぞれ5.63%と3.75%をカタール・ホールディングスに売却することになりました。Ferrovial社は持分が50%から39.37%へと減少しますが、引き続き大株主として残ります。これらの売却手続きは規制当局の許可待ちとなっています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【ドバイの生活費上昇】

ドバイでの生活は2008年の危機前と比べれば余裕はあるようですが、家賃の上昇、教育費の上昇などを通じて今年は過去数年間よりも厳しくなるかもしれません。

人材紹介のBAC Middle East社によれば、給料の上昇という動きはあまり見られないようです。同社の調査によれば、回答企業のうち僅か5%が今後インフレを上回る賃金の上昇を予測しているとのこと。

インフラの質や生活水準を考えれば2008年のピークよりもはるかに安いという見方もあるようですが、人気のエリアでは家賃も上昇が始まっているとのこと。

## 【アラブ首長国連邦のホテルが高評価】

旅行予約サイトの最大手エクスペディアがウェブサイトに掲載されたレビューを基に作成している最良のホテル650のリストにアラブ首長国連邦のホテルが多数選ばれました。

ドバイのホテルから11、アブダビのホテルから2つランクインしていますが、中東のホテルとしてランクインしたのはアラブ首長国連邦のホテルのみとなりました。

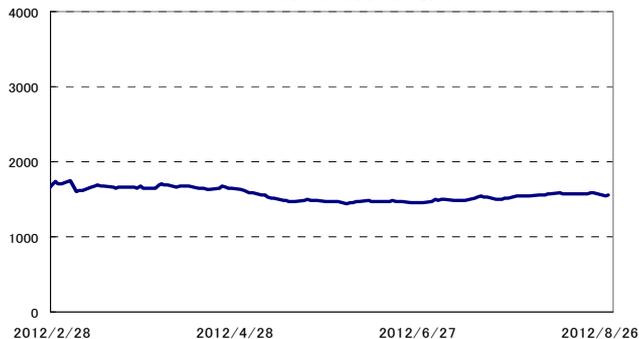


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

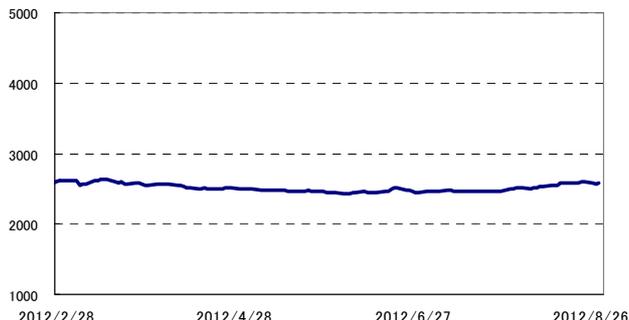


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移  
(各市場の直近6ヶ月)

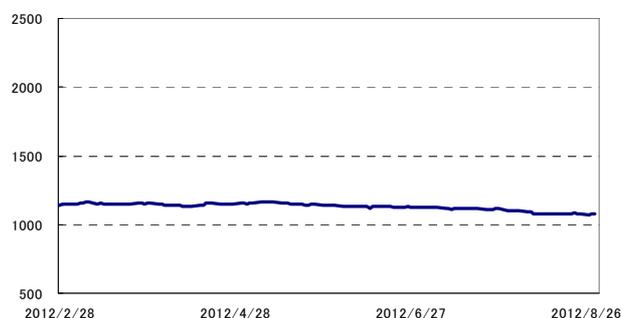
ドバイ金融市場総合指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



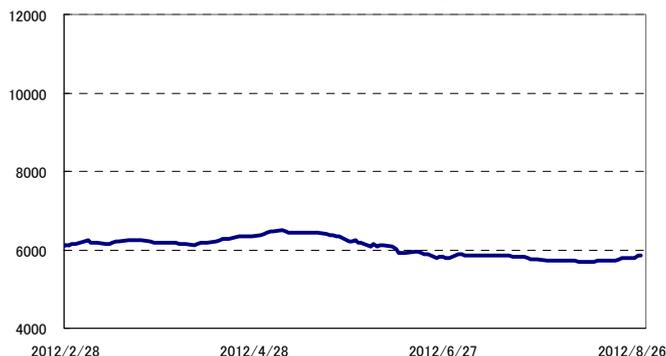
サウジアラビア タダウル全株指数



カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。